

基本施策1

No.	事業No.	事業名	内容	属性	質問回答担当課	質問への回答
1	1	生涯学習センター講座	学習ニーズをどのように把握している（する）のか？	質問	文化生涯学習課	日々の講座参加者からのご意見や年度末の利用者アンケートより把握。
2	1	生涯学習センター講座	市民団体を講師とした講座を開催できなかったとの事。確保できなかった要因は何か？（時間？費用？人員？など）	質問	文化生涯学習課	市民団体は、講座の講師とするのではなく、センターのイベントでワークショップの場を提供。市民と接点を持つことで、市民・市民団体双方の活動活性化に役立ててもらっている。
3	1	生涯学習センター講座	学習ニーズの正確性	質問	文化生涯学習課	教養・生活実技講座等では受講者アンケートの他、講師意見を聴き、運営方法を改善。講堂講座・イベントではアンケートで、受講・参加者に企画内容から広く聴いて改善。
4	1, 2, 3	生涯学習センター講座 生涯学習センタースポーツ施設 公民館講座	市民ニーズの把握の方法はどのような方法だったのか？	質問	文化生涯学習課	日々の講座参加者からのご意見や年度末の利用者アンケートより把握。
5	1, 3	生涯学習センター講座 公民館講座	若年層や現役バリバリ層はどのくらい参加した？	質問	地域コミュニティ課	令和6年度の地区公民館講座における延参加者数は1,612名で、うち若年層や現役バリバリ層（15歳～50代）は4分の一程度の約380名。主に親子で参加できる講座の参加者数とその8割弱を占めている。
文化生涯学習課					全体の8%が10歳以下、35%が20～50歳代（講座の1次申込者データより全体を推測）	
7	2	生涯学習センタースポーツ施設	「誰でも」とはどのような人を指すのか？	質問	文化生涯学習課	ダイバーシティの考えのもと多種多様な方々。
8	2	生涯学習センタースポーツ施設	障害者専用コース ワンポイントレッスン→なぜ実現できなかった？計画をしなかったのか？	質問	文化生涯学習課	障害者専用コースは、プールのコース数が6コースと限りあるため、健常者と区別なく同じコースを使用いただいている。ワンポイントレッスンについても、スクール・講座での指導で十分であるため、計画はしていない。
9	3	公民館講座	多様な市民が参加しているのか？	質問	地域コミュニティ課	講座の内容によって年齢的な制約は設けているが、参加要件として性別等問わず募集し、参加されている。地区公民館講座全体的には幼児から高齢者まで幅広い世代が参加できる事業となっている。
10	3	公民館講座	文化センターにおける講座のニーズはどう把握しているのか？知る限りでは同じようなスケジュール消化プログラムに見える	質問	地域コミュニティ課	主に講座終了後、参加者に感想や意見等を求め次年度の参考としているが、令和6年度に実施した「スマホ講座」のように、市民アンケートの結果（60歳以上のインターネットを利用していない市民が設定方法や操作方法がわからないと回答）を講座の内容に反映するなどニーズを把握している。
11	3	公民館講座	文化センターと公民館の位置付け？	質問	文化生涯学習課	文化センターは、市役所の窓口、公民館、高齢者福祉館、児童館、図書館が併設された複合施設となっている。

No.	事業No.	事業名	内容	属性	質問回答担当課	質問への回答
12	3	公民館講座	内容が専門的→目的が講師と共有できていたか？ (憲法講演会)	質問	多様性社会推進課	当課は令和4年度から憲法講演会の担当となり（それ以前は文化生涯学習課が担当）、多様性に関する話題と憲法を組み合わせることで、試行的に様々なテーマの憲法講演会を実施してきた。令和6年度までの実施について、講師との目的共有はできていたが、令和7年度事業の開催にあたっては、より多くの市民に対する啓発を目指し、初学者にとっても参加しやすいものとなるよう、講師と講演内容の調整を図っている。
13	3	公民館講座	公民館講座<家庭教育学級> →学級の実施方法 単式？継続 →企画はだれがつくるの？ →家庭教育学級の対象？参加者の集め方	質問	文化生涯学習課	家庭教育学級は、現在は単発式の講座として実施している。文化生涯学習課が企画する全学的家庭教育学級、各文化センターが企画する地区公民館講座の家庭教育学級、府中市立小中学校PTA連合会に委託して実施する小・中学校の家庭教育学級の3つがある。子育て中の保護者が主な対象で、それぞれの広報手段を利用して参加者を募っている。
14	3	公民館講座	公民館講座<地区公民館講座> ・市民ニーズをどうやって把握するの？ ・受講料は徴収しているの？ ・企画は誰が立てるの？	質問	地域コミュニティ課	(ニーズについてはNo.14参照) ・受講料は物品の作成や調理に係る原材料費の実費分のみ徴収している。 ・企画は各文化センターの職員が立案している。
15	4	ふちゅうカレッジ出前講座	市民からどんなリクエストあった？どうリクエストを集めた？	質問	文化生涯学習課	介護保険についての要望があり、メニューに追加したことがある。ふちゅうカレッジ出前講座の実施時に、受講者アンケートを実施している。
16	4	ふちゅうカレッジ出前講座	府中カレッジ出前講座 ・市職員が講師となる…その目的、意義は？ →市職員自身のスキルアップも視野に入っているのか ・市民へのPRをどうしているのか ・市民リクエストが集中するテーマとは？	質問	文化生涯学習課	ふちゅうカレッジ出前講座は、市民の生涯学習機会の拡大と生涯学習活動の推進を図り、あわせて市政に対する理解を深めるために実施するもの。各課からの提案に基づきメニューを作成しており、講師となる職員は当該課の業務内容には精通しているが、一般的な講師活動を行うための研修は行っていない。施設への案内冊子の配布、広報ふちゅう、ホームページなどで市民に周知している。市民のリクエストが集中するテーマは、防災、防犯、健康、高齢者福祉などに関わるもの。
17	4	ふちゅうカレッジ出前講座	基1(2)ふちゅうカレッジ出前 特定のテーマに集中すること どのテーマなんだろう？	質問	文化生涯学習課	市民のリクエストが集中するテーマは、防災、防犯、健康、子育てなどに関わるもので、特に防災（震災・風水害）が多い。
18	4	ふちゅうカレッジ出前講座	出前講座 どのような所で講座を実施なさったのか？	質問	文化生涯学習課	依頼団体としては、自治会、シルバー人材センター、高齢者施設、障害者施設、保育園、PTAなど。
19	5	生涯学習サポート事業	生涯学習ファシリテーターの活用が進まない理由をどう分析しているのか？（そもそも有効なのか？）	質問	文化生涯学習課	生涯学習センターで行う生涯学習相談は定期的・継続的に行う必要があるが、センター職員の指導や助言を基にファシリテーターが活動するには負担が大きいため、活用ができていない。生涯学習ファシリテーター自体は、市民企画講座や生涯学習フェスティバル実行委員会などで積極的に活用されている。

No.	事業No.	事業名	内容	属性	質問回答担当課	質問への回答
20	5	生涯学習サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな相談があったのか？ ・相談・支援の体制はどうなっている？ ・誰が相談に乗っている？ 	質問	文化生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したい内容に応じた講座・サークル・施設を教えてほしい、自分の知識や能力を活かして講師をしたい、ボランティア活動をしたいといった相談に応じている。 ・生涯学習相談は、府中市文化生涯学習課の窓口及び生涯学習センターの受付で行っている。 ・府中市文化生涯学習課では市職員、生涯学習センターでは社会教育士を含む生涯学習センター職員が当たっている。
21	5	生涯学習サポート事業	ファシリテーターは増えているか	質問	文化生涯学習課	ファシリテーターの養成講座を毎年実施しており、毎回10～20人程度の修了者を輩出しており、修了者は増加している。
22	5	生涯学習サポート事業	指定管理者への市の方針をきちんと伝達できているか	質問	文化生涯学習課	業務要求水準書で、生涯学習推進計画に基づき、生涯学習審議会答申を参考にすることを明記しているが、毎年のモニタリングや毎月の定例報告会の際に情報共有ができていなかった面があると考えられる。
23	5	生涯学習サポート事業	現状の「指定管理者の運営方針の変化もあり」→とは？	質問	文化生涯学習課	指定管理者の専門職が変わったことが直接的な影響であるが、生涯学習ファシリテーターはボランティアでの活動であったため継続的な活用が難しい面もあった。
24	6	府中囃子伝承普及事業	シニアに対しての受け口が新入り世帯に伝わっているか	質問	文化生涯学習課	幅広い世代の市民を対象とした演奏技術の伝承事業を委託により実施するとともに、府中囃子保存会による子ども向けの講習会の開催やお祭りへの参加等で地域に開かれた活動を行っているため、新しく住み始めた世帯にも周知されているものと認識している。
25	6	府中囃子伝承普及事業	基1-施1-課題 保存・継承に知名度向上を挙げているが、本当に知名度なのか？	質問	文化生涯学習課	課題として挙げた「地域住民の参加者意識の醸成」のためには、府中囃子の魅力を認識してもらう必要があり、そのためには市内外での知名度向上が有効であると考えている。
26	9	知的障害者学級（あすなろ学級）	知的障がい者あすなろ学級 A評価としているが、文科省の障がい者生涯学習の考え方とか、インクルーシブ教育の考え方が反映されているのか？	質問	文化生涯学習課	長年にわたり継続している事業であり、近年、文部科学省が推進している「障害者の生涯学習」やインクルーシブ教育の考え方に基づいているわけでは必ずしもない。
27	11	国際交流サロン運営事業	外国人交流は日本の若い人が集まりそう。何人集まったのか？	質問	多様性社会推進課	国際交流サロンで行っている文化交流等のイベント参加者は、日本語学習会に登録している外国人学習者と日本人ボランティアで、特に日本人の若い世代が多いわけではない。令和6年度の文化交流に参加した延べ人数は日本人78人、外国人81人の計159人。
28	11	国際交流サロン運営事業	ボランティアをどう集めている？どんな人が参加している？	質問	多様性社会推進課	毎年4月頃に外国人に日本語を教えるボランティア（18歳以上の市民）を募集し、研修終了後に日本語学習会にボランティアとして参加してもらっている。仕事を退職された方や、以前外国に住んでいて、日本に住む外国人をサポートしたいと参加される方が多い。

No.	事業No.	事業名	内容	属性	質問回答担当課	質問への回答
29	11	国際交流サロン運営事業	国際交流サロン運営事業 ・在住外国人 受け入れの考え方は？ ・在住外国人のニーズをどうやって把握しているのか？	質問	多様性社会推進課	・日本語レベルにかかわらず、18歳以上の府中市在住・在学・在勤の外国人を受け入れている。 ・学習者とボランティアがペアを組み、日本語学習の目的を確認しつつ、学習方法・内容を決めている。

基本施策2

No.	事業No.	事業名	内容	属性	質問回答担当課	質問への回答
1	15	生涯学習ファシリテーターの養成	市民のニーズに応じて要請できているか？	質問	文化生涯学習課	生涯学習ファシリテーターの養成講座だけでは、生涯学習相談を行うには難しい面があり、実際には社会教育士などの生涯学習センターの職員が対応している。
2	15	生涯学習ファシリテーターの養成	「生涯学習ファシリテーターによる市民企画講座」は何回？ どんなテーマで行われた？	質問	文化生涯学習課	近年は、令和5年度6回、令和6年度3回など数回行われている。令和6年度の実施テーマは、「伝える話し方」、「はじめてのアンガーマネジメント」、初めての藤細工「小物入れと四角籠」。
3	15, 16	生涯学習ファシリテーターの養成 生涯学習サポーター養成講座	ファシリテーターやサポーターの養成をしたらしゃるが、活動の場があるのだろうか。活動の場の広がりは？	質問	文化生涯学習課	生涯学習センターの定期講座や文化センターでの地区公民館講座など、市の関係機関などで活用されている。
4	16	生涯学習サポーター養成講座	生涯学習サポーター活動の場があるのか？	質問	文化生涯学習課	市民団体からの求めに応じて学習会を行ったり、生涯学習センターや文化センターなどの講座で講師を行ったりしている。
5	17	生涯学習ボランティアの養成講座	生涯学習養成講座 ・生涯学習ファシリテーターとボランティアの異同は？ ・「生涯学習」より「地域の公共性」を高めるということを意識したネーミング	質問	文化生涯学習課	生涯学習ファシリテーターも広義のボランティアといえるが、府中市に登録し、生涯学習センターを拠点に活動するボランティアを生涯学習ボランティアと呼んでいる。名称については、法令による制約はないので、市で独自に決めることができると考える。
6	17	生涯学習ボランティアの養成講座	ボランティア養成講座を受講した方は必ず登録ではないのですか	質問	文化生涯学習課	ボランティア養成講座を受講しても登録は必須ではない。
7	21	ふちゅうカレッジ100単位	「生涯学習士」と「生涯学習ファシリテーター」「生涯学習サポーター」は何が違うのか？	質問	文化生涯学習課	生涯学習士は、ふちゅうカレッジ100単位を修得した学習者のこと。生涯学習ファシリテーターは、地域における生涯学習活動の事業企画・運営、また、情報提供や相談に応じるなど、市民の学習活動に対し、直接的あるいは間接的に支援を行う地域の担い手のこと。生涯学習サポーターは、文化・芸術・教育・レクリエーション活動等について専門的知識・技能を持ち、市民学習グループの求めに応じた指導者として登録した市民。
8	21	ふちゅうカレッジ100単位	生涯学習士→これがどう活かされるのか。活かす場があるのか。	質問	文化生涯学習課	生涯学習士は、当初は生涯学習ボランティアとして活躍することが期待されていたが、現在は生涯学習士の新規の認定者のいない状態が続いている。
9	25	美術館ボランティアの育成	美術館ボランティア 希望者が多い事業の内容が知りたい	質問	美術館	アートスタジオ・ワークショップの補助、公開制作のガイドを希望する方が多く、令和7年度夏実施のアートスタジオ「ひんやりジュワッとカラフルに楽しもう」など参加して子どもたちや進行の補助をいただいている。
10	27	学校支援ボランティア	あらかじめ学校のニーズに沿ってボランティアを用意できているか？	質問	指導室	事前登録制ではなく、各学校の裁量により活動している。

No.	事業No.	事業名	内容	属性	質問回答担当課	質問への回答
11	27	学校支援ボランティア	生徒サポーターや学生ボランティアと学校の連携はあるのか？	質問	指導室	多くの学校で学生ボランティアが活動している。
12	全体 (その他)		全体的に、取組内容の妥当性（数値等）はどの段階でオーソライズされているのか？	質問	文化生涯学習課	生涯学習推進計画の策定時に、数値も含めた取組内容の妥当性を承認しているものとする。

基本施策3

No.	事業No.	事業名	内容	属性	質問回答担当課	質問への回答
1	29・30	広報媒体を活用した生涯学習のPR インターネットホームページ情報提供	紙媒体（広報ふちゅう）、ホームページ、SNS 年代・性別でどのくらい見られている？	質問	文化生涯学習課	令和6年の市政世論調査において、生涯学習に関する情報の取得手段について調査している。全体では、広報ふちゅう31.3%、ホームページ10.2%、SNS0.6%。男女別では、男性が、広報ふちゅう26.0%、ホームページ8.9%、SNS0.3%、女性が、広報ふちゅう35.0%、ホームページ11.4%、SNS0.9%。年代別では、18～29歳は広報ふちゅう11.7%、ホームページ3.9%、SNS0.0%、30代は広報ふちゅう17.9%、ホームページ7.7%、SNS0.0%、40代は広報ふちゅう27.9%、ホームページ10.4%、SNS1.5%、50代は広報ふちゅう31.2%、ホームページ16.1%、SNS0.5%、60代は広報ふちゅう36.0%、ホームページ13.5%、SNS0.9%、70歳以上は広報ふちゅう60.8%、ホームページ2.9%、SNS0.0%。
2	32	市内生涯学習施設間連絡会議	施設間連絡会議は「市民文化の日」企画検討以外にどんな役割を果たせるのか？	質問	文化生涯学習課	施設間連絡会議は、主に文化芸術に関わる施設で構成され、「市民文化の日」が企画催事となっている。「市民文化の日」企画以外には、美術館と生涯学習センターの連携講座や芸術劇場と生涯学習センターの連携講座の企画実施、また、施設の運営に関する情報共有を行っている。
3	34	大学との連携	基施3(2)大学との連携 明治大学のファシリテーター養成講座が終了したことを知った。人とのつながりが切れると講座も終了するのだろうか？	質問	文化生涯学習課	明治大学との連携事業としての講座は、大学側からの申出により終了したが、ファシリテーター養成講座は別の大学の教授に協力を得て、現在も継続している。
4	37	放課後子ども教室	放課後子ども教室の内容はプログラム化されているのか（個人はプログラム化否定）	質問	児童青少年課	通常時の内容は自主学習や自由遊びがメインだが、文化・芸術に関する内容や工作・調理、スポーツといった活動をプログラム化はせず、各放課後子ども教室で実施している。
5	全体 (その他)		不登校とか特別支援教育の分野は扱わなくてよいか？	質問	文化生涯学習課	不登校への対策や障害のある児童青少年の学習については、生涯学習・社会教育として取り組めるものは対象分野となり得る。